SOS救難信号 使い方ガイド

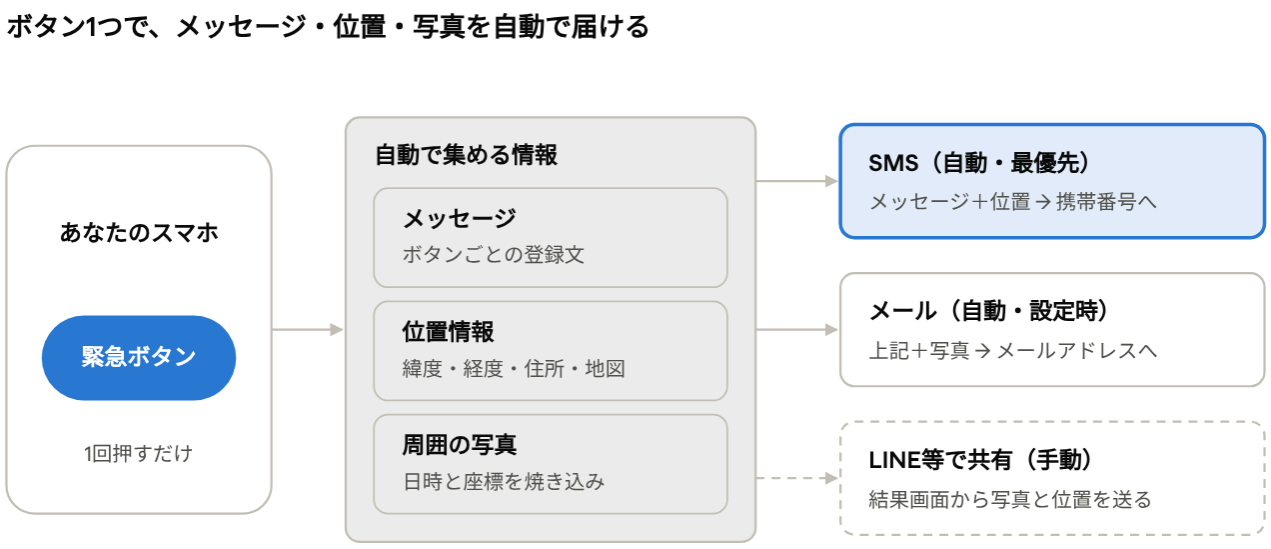
Oct 9, 2026

SOS救難信号

使い方ガイド

はじめに

「SOS救難信号」は、状況に合ったボタンを1回押すだけで、登録しておいた家族や知人に**緊急メッセージ・現在地・周囲の写真**を自動で送るAndroidアプリです。声を出せない、電話をかける余裕がない場面でも、何が起きて、どこにいて、周りがどんな様子かを一度に伝えられます。



送信の全体像 · 3つの情報を3つの経路で

SMSは文字しか送れないため、写真はメールで自動送信するか、送信後にLINE等で共有します。SMSは写真を待たずに最優先で送られます。

ほかに、周りに知らせる大音量の**防犯ブザー**（10章）と、転倒・落下などの強い衝撃を検知して応答がなければ自動で通報する**衝撃・転倒の自動通報**（11章）があります。

このガイドの読み方

- 準備（一度だけ）：1〜6章。連絡先とボタンを登録し、テスト送信まで済ませます。
- いざというとき：7章（ボタン送信）・10章（防犯ブザー）・11章（衝撃・転倒の自動通報）。いざというときに何が起きるかを確認しておきます。
- 家族に共有：8章。受け取る側の見え方を、送信先の人にも見せておくと安心です。

1. インストールと初回起動

初回起動時に表示される3種類の権限をすべて「許可」すれば、すぐに使える状態になります。許可しなかった項目は、緊急送信の画面上部に黄色い警告として表示されます。

1. APKをインストールし、アイコン（赤い丸に「SOS」と浮き輪、「救難信号」の文字）をタップして起動します。
2. 権限の確認が順番に表示されるので、次のように答えます。

確認画面	選ぶボタン	使い道	許可しないと
SMSの送信と表示	許可	緊急メッセージの自動送信	SMSが送れない
位置情報へのアクセス	**正確**＋「アプリの使用中のみ」	緯度・経度・住所の取得	位置なしで送信される
写真と動画の撮影	アプリの使用中のみ	周囲の写真の自動撮影	写真なしで送信される

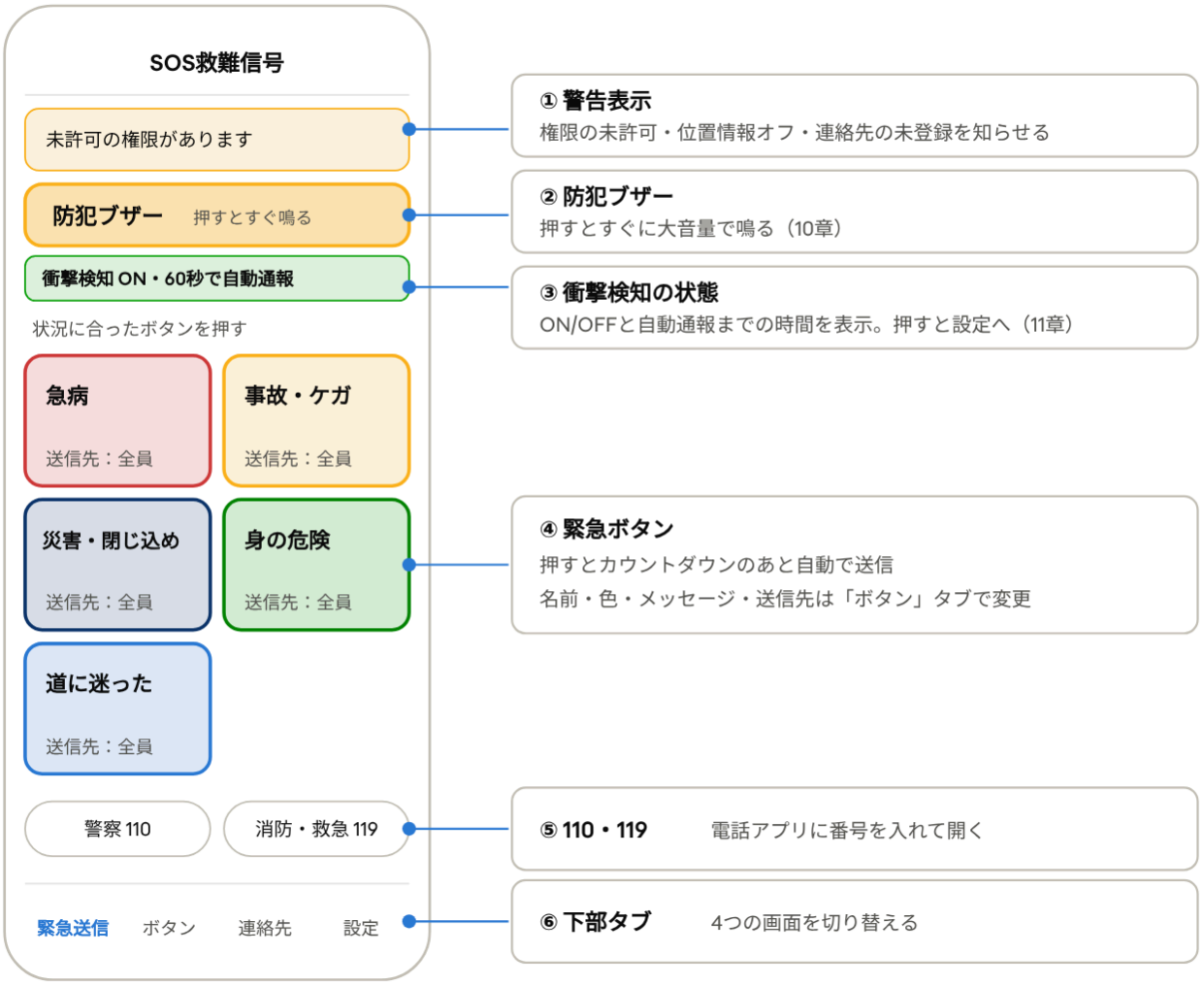
3. 端末の位置情報（クイック設定の「位置情報」）がオフの場合は、警告の「オンにする」から有効にします。
4. 一度「許可しない」を選んだ場合は、警告の「設定を開く」→「権限」から許可し直せます。

位置情報で「おおよそ」を選ぶと誤差が数kmになるため、必ず「正確」を選んでください。

2. 画面構成

アプリは下部の4つのタブで画面を切り替えます。起動すると必ず「緊急送信」画面が開くので、いざというときはアプリを開いてボタンを押すだけです。

ホーム画面：状況に合ったボタンを押すだけ



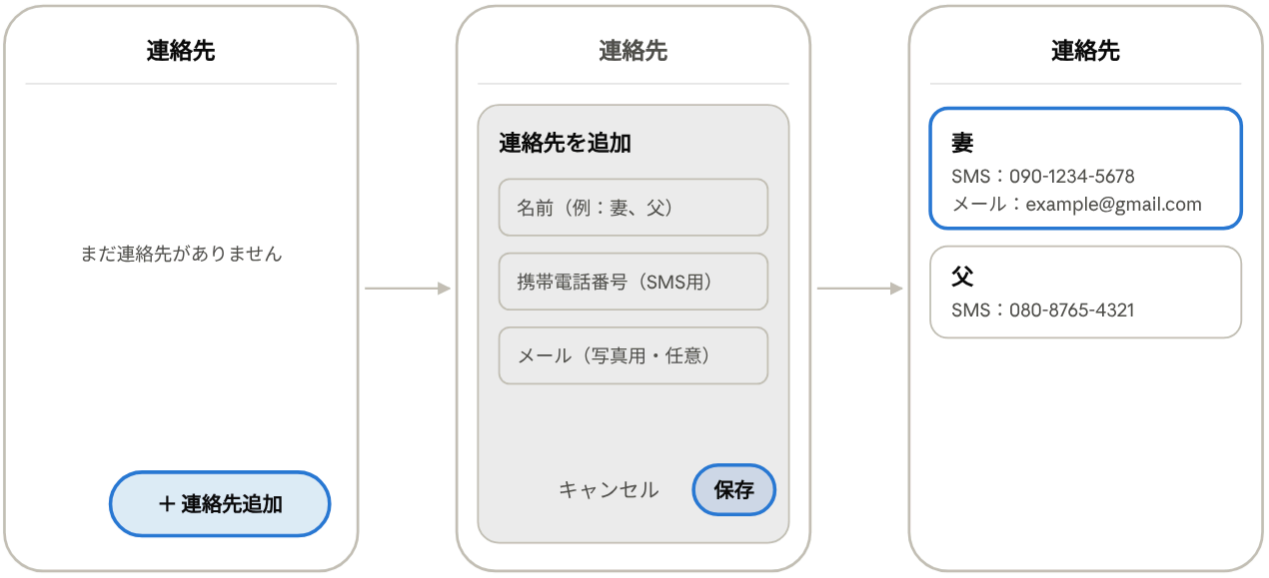
緊急送信画面·6つの要素

タブ	できること	使うタイミング
緊急送信	ボタンを押して送信、防犯ブザー、110・119へ電話	いざというとき
ボタン	ボタンの追加・編集・削除・並べ替え	最初の準備、見直し時
連絡先	送信先の追加・編集・削除	最初の準備、番号変更時
設定	名前、カウントダウン、写真、メール設定、テスト送信	最初の準備

3. 連絡先の登録

緊急時に知らせたい人を「連絡先」タブに登録します。携帯番号にはSMSが、メールアドレスには写真付きメールが届きます。

連絡先は3ステップで登録できる



① 「連絡先追加」を押す
連絡先タブの右下のボタン

② 名前と番号を入力
番号かメールのどちらかは必須

③ 「保存」で登録完了
一覧から編集・削除もできる

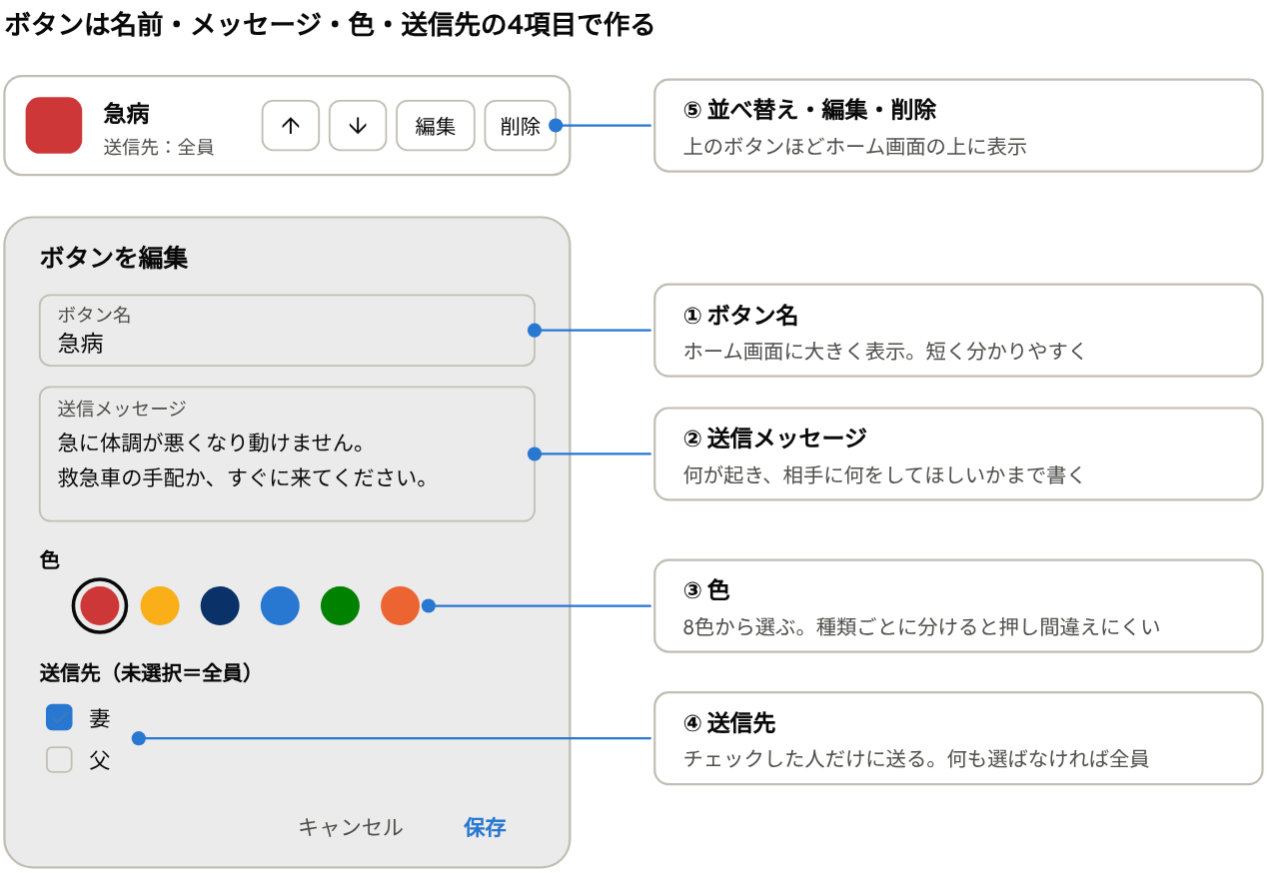
連絡先の登録 · 3ステップ

入力欄	必須	入力のコツ
名前	必須	「妻」「父」など、自分が分かる呼び方でよい
携帯電話番号	番号かメールのどちらか	10桁以上。ハイフンや空白は入れても自動で取り除かれる。固定電話にはSMSが届かない
メールアドレス	番号かメールのどちらか	写真を受け取る人だけでよい。「5. 設定」のメール設定が必要

- 送信先は3〜5人程度がおすすめです。同居家族だけでなく、離れて暮らす家族や近所の知人も入れておくと、誰かがすぐに動けます。
- 登録した人には「このアプリから緊急連絡が届くことがある」と伝えておいてください。
- 連絡先を削除すると、各ボタンの送信先からも自動で外れます。

4. 緊急ボタンの作成と編集

「ボタン」タブで、緊急事態の種類ごとにボタンを用意します。初めから5つ入っているので、そのまま使うか、自分の状況に合わせて書き換えます。



ボタンの編集画面・5つの操作

1. 右下の「ボタン追加」、または既存ボタンの「編集」を押します。
2. ボタン名と送信メッセージを入力します（どちらも必須）。
3. 色を選び、必要なら送信先にチェックを入れます。
4. 「保存」を押すと、すぐに緊急送信画面に反映されます。

初めから入っているボタン

ボタン	色	送信メッセージ
急病	赤	急に体調が悪くなり動けません。救急車の手配か、すぐに来てください。
事故・ケガ	オレンジ	事故に遭いケガをしています。助けが必要です。
災害・閉じ込め	紫	災害に巻き込まれ、身動きが取れません。救助を要請してください。
身の危険	黒	身の危険を感じています。警察への通報をお願いします。こちらからの返信や電話はできないかもしれません。

ボタン	色	送信メッセージ
道に迷った	青	道に迷って現在地が分かりません。迎えに来てください。

メッセージを書くコツ

- **何が起きたか＋してほしいこと**を一緒に書きます（例：「持病の発作です。薬はカバンの内ポケット。119番をお願いします」）。
- 位置情報・日時・名前は自動で付くので、書かなくて構いません。
- 1回の送信でSMSが何通かに分かれるため、メッセージは60文字以内が目安です。
- 「迎えに来て」のように緊急度が低いボタンは、送信先を家族だけに絞るとよいでしょう。

5. 設定

最低限「あなたの名前」だけ入れれば使えます。写真をメールで自動送信したい場合だけ、メール送信の設定が必要です。設定は入力した瞬間に保存されます。

項目	初期値	説明
あなたの名前	空欄	本文の「〇〇より」に入ります。家族が誰からの連絡か分かるように必ず入力
誤送信防止カウントダウン	3秒	0〜10秒。この間だけ「中止する」で取り消せます。0にすると押した瞬間に送信
周囲の写真を自動撮影	オン	背面カメラで1枚撮影します
前面カメラでも撮影する	オフ	オンにすると自分側も1枚撮影します（計2枚）
送信元メールアドレス	空欄	写真付きメールの差出人（Gmail推奨）
アプリ パスワード	空欄	下記の手順で発行した16桁のパスワード
SMTPサーバー／ポート	smtp.gmail.com／587	Gmail以外のメールを使う場合のみ変更

衝撃・転倒の自動通報の設定は「11. 衝撃・転倒の自動通報」で説明します。

Gmailのアプリ パスワードを発行する手順

SMSは文字しか送れないため、写真はメールで送ります。Gmailの通常のパスワードは使えないので、アプリ専用のパスワードを発行します。

1. ブラウザでGoogleアカウント（myaccount.google.com）を開き「セキュリティ」を選びます。
2. 「2段階認証プロセス」がオフならオンにします（アプリ パスワードの発行に必須）。
3. 検索欄に「アプリ パスワード」と入力して開きます。
4. アプリ名に「SOS救難信号」など分かる名前を入れて「作成」を押します。
5. 表示された16桁（4文字×4）のパスワードを、アプリの「アプリ パスワード」欄に入力します。空白は入れても自動で取り除かれます。
6. 「送信元メールアドレス」に、そのGoogleアカウントのGmailアドレスを入力します。

パスワードは端末内に保存されます。端末を手放すときは、Googleアカウント側でこのアプリ パスワードを削除してください。

アプリについて

設定画面の一番下に、アプリのアイコンとcreator7のロゴ、バージョン番号が表示されます。「creator7.jp」を押すと、開発元のWebサイトが開きます。

6. テスト送信

登録が終わったら、必ず一度テスト送信をして「本当に届くか」を確認してください。テスト送信のメッセージには先頭に「【テスト送信・対応不要です】」と入るので、受け取った人が慌てることはありません。

1. 送信先の人に「これからテストで緊急メッセージを送る」と事前に伝えます。
2. 「設定」タブの一番下、「動作確認」の「テスト送信する」を押します。
3. 本番と同じくカウントダウン → 撮影・測位 → SMS → メールの順に処理されます。
4. 結果画面で4項目すべてが緑のチェックになることを確認します。
5. 受け取った人に、次の4点を確認してもらいます。

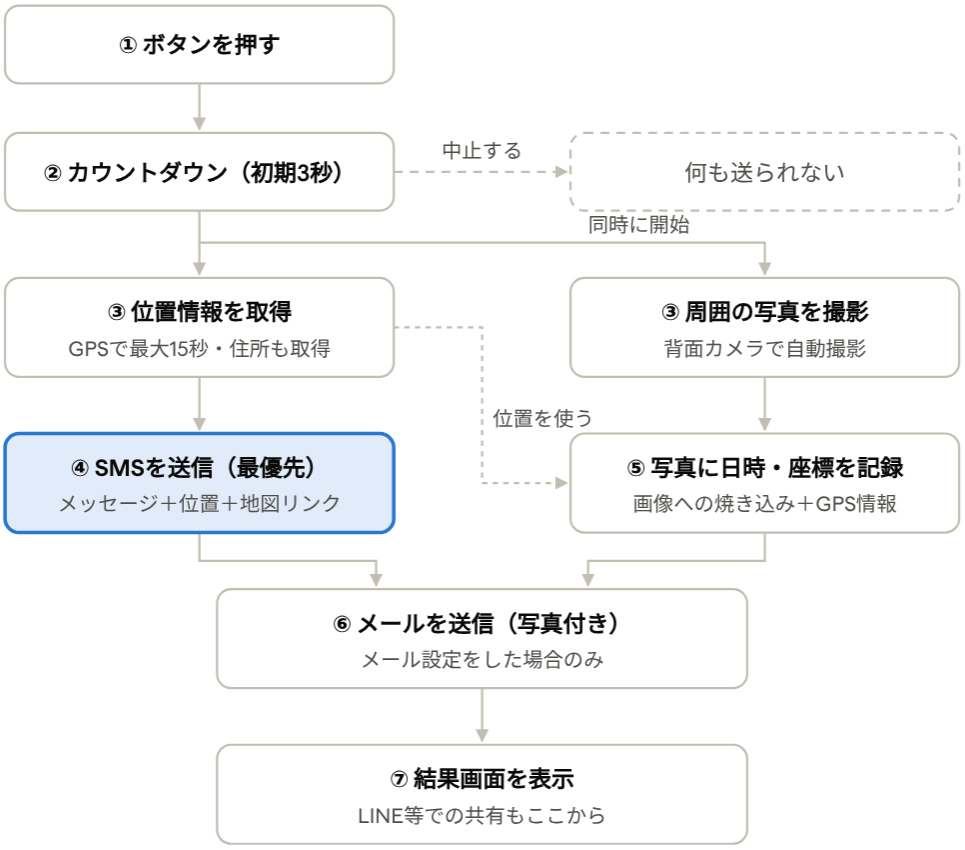
- [ ] SMSが届いた（差出人があなたの番号になっている）
- [ ] 本文の「地図」のリンクを押すと、正しい場所が表示される
- [ ] メールが届き、写真が添付されている（メール設定をした場合）
- [ ] 写真の下部に日時と緯度・経度が入っている

テスト送信も通常のSMS料金がかかります。年に1〜2回、連絡先の変更がないか見直すタイミングで行うのがおすすめです。

7. 緊急時の使い方

いざというときは、**アプリを開いて状況に合ったボタンを1回押すだけ**です。あとはアプリが自動で処理し、SMSはカウントダウンが終わり、位置情報が取れしだい（最大15秒）送られます。

SMSは位置が取れしだい最優先で送られる



ボタンを押してからの流れ·7ステップ

写真と位置情報は同時に集め始め、SMSは写真を待たずに送られます。位置が取れなかった場合も「位置情報を取得できませんでした」と書いてSMSは必ず送られます。

操作の流れ

1. アプリを開き、状況に合うボタン（例：「急病」）を押します。
2. 画面全体がボタンの色に変わり、大きな数字が「3・2・1」と減っていきます。1秒ごとに短く振動します。
3. 押し間違えたときは、この間に画面下の「中止する」か、端末の戻る操作で取り消せます。
4. カウントが0になると長めに振動し、送信が始まります。**ここから先は取り消せません。**
5. 送信中はアプリを開いたままにします（画面は自動で消えません）。カメラが周りを写せるよう、できればスマホの背面を外側に向けます。

6. 全て終わると結果画面が表示され、短く振動します。

その場を離れられるなら、送信したあとも安全な場所へ移動してかまいません。ただし、届いた位置はボタンを押した時点のものなので、大きく移動したらもう一度ボタンを押して最新の位置を送ります。

8. 受け取る側に届く内容

受け取った人は、SMSの地図リンクを押すだけで場所が分かります。この章を送信先の家族にも見せておくと、いざというときに慣てずに動けます。

SMS

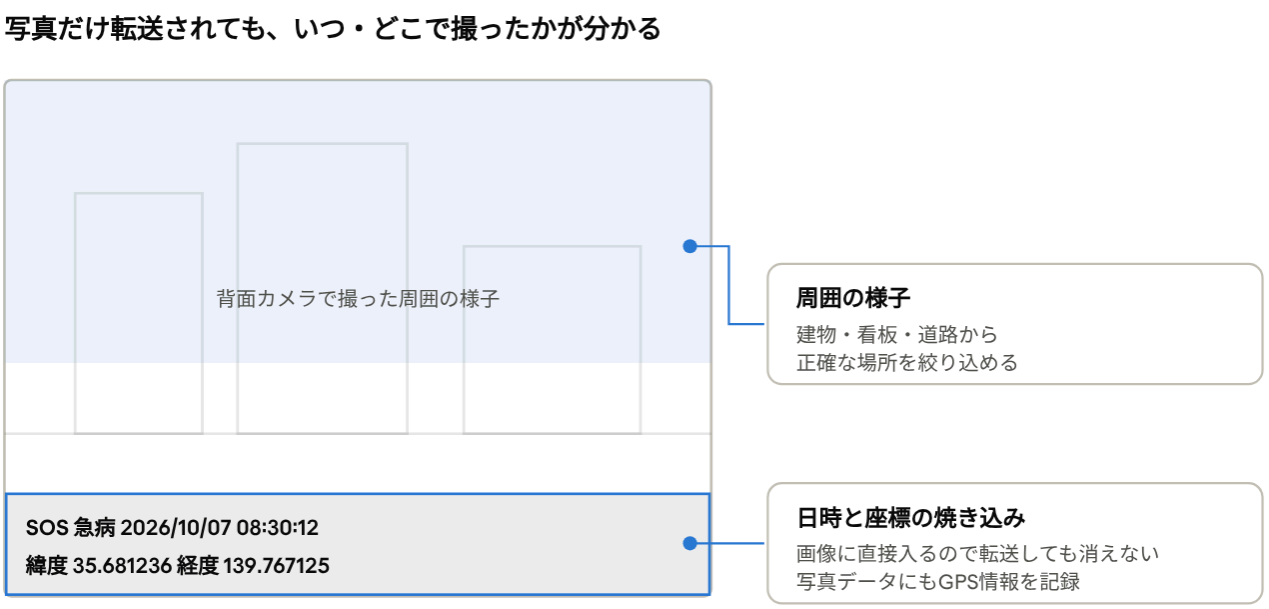


受信者に届くSMS・5つの情報

日本語のSMSは70文字ごとに分けて送られますが、多くのスマートフォンでは1つにつながって表示されます。位置が取れなかった場合は「■位置情報を取得できませんでした」と表示されます。

メールと写真

メール設定をしている場合、SMSと同じ本文に写真が添付されて届きます。件名は「【緊急SOS】急病 - 山田」のように「ボタン名 - あなたの名前」になります。

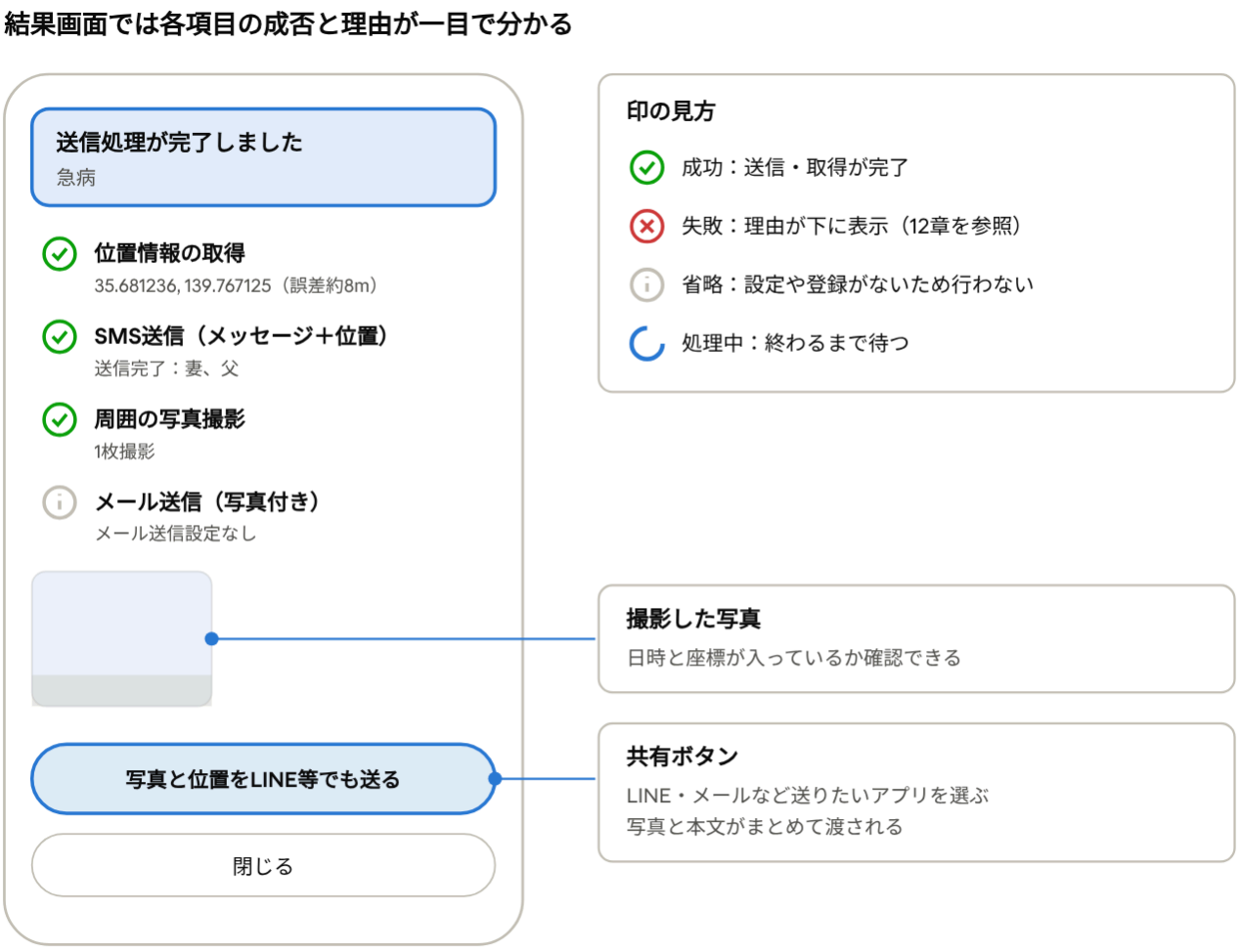


メールに添付される写真

届くもの	SMS	メール	LINE等で共有
メッセージ	あり	あり	あり
緯度・経度・住所・地図リンク	あり	あり	あり
周囲の写真	なし	あり	あり
送信の手間	自動	自動（設定時）	結果画面から1タップ以上

9. 送信結果画面とLINE等での共有

送信が終わると、位置情報・SMS・写真・メールの4項目が「成功」「失敗」「省略」のどれだったかが表示されます。まずSMSの行が成功になっているかを確認してください。



送信結果画面 · 4項目の状態

写真をLINE等で送る手順

メール設定をしていないときや、家族がLINEをよく見る場合は、こちらで写真を送ります。

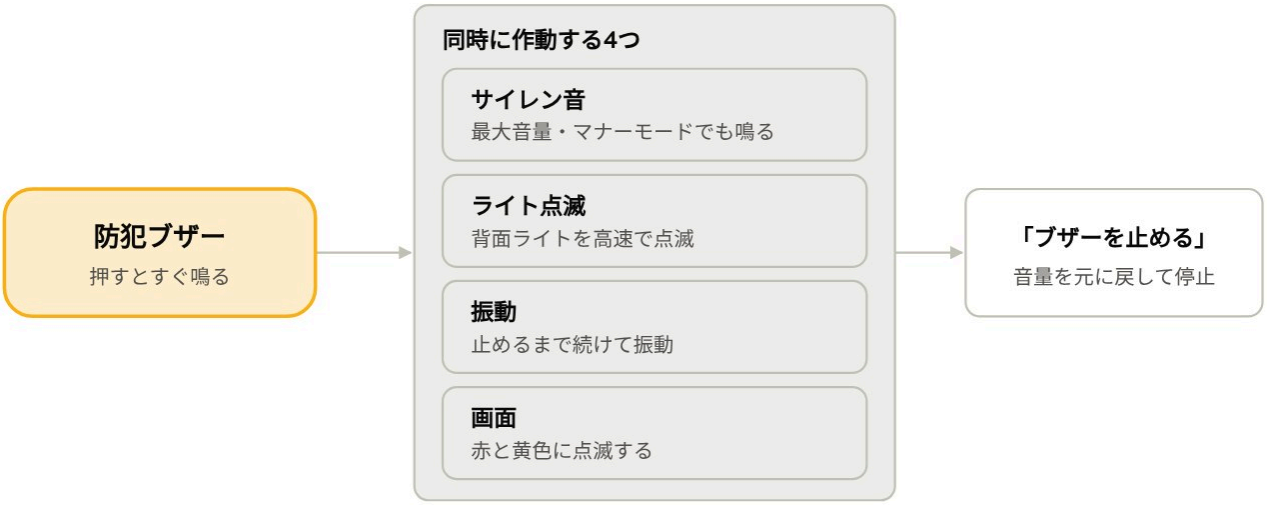
1. 結果画面の「写真と位置をLINE等でも送る」を押します。
2. 共有先の一覧からLINE、メールなどを選びます。
3. 送りたい相手（家族のグループなど）を選んで送信します。写真とSMSと同じ本文がまとめて入っています。
4. 終わったら「閉じる」で緊急送信画面に戻ります。

SMSが失敗していた場合も、データ通信ができればこの共有で位置を伝えられます。

10. 防犯ブザー

ホーム画面いちばん上の黄色い「防犯ブザー」を押すと、確認なしですぐに大音量のサイレンが鳴ります。周りの人に危険を知らせ、相手をひるませるための機能です。

ボタン1回で音・光・振動が同時に作動し、止めると音量も元に戻る



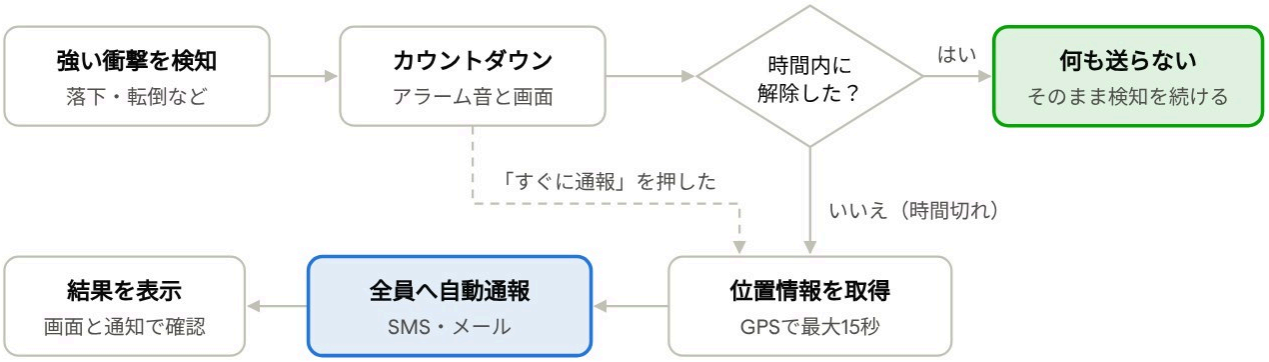
1. ホーム画面の黄色い「防犯ブザー」を押します。
2. サイレン・ライト点滅・振動が始まり、画面が赤と黄色に点滅します。
3. 止めるときは、画面下の黒い「ブザーを止める」を押します。端末の戻る操作では止まりません。

- マナーモードでも鳴ります。鳴っている間だけアラーム音量を最大にし、止めると元の音量に戻ります。
- ブザーは周りに知らせるための機能で、登録メンバーへの連絡は送りません。連絡も必要なときは、ブザーを止めてから状況に合ったボタンを押してください。
- 一度、周りに迷惑のかからない場所で鳴らして、音の大きさと止め方を確かめておくと安心です。

11. 衝撃・転倒の自動通報

この機能をONにすると、スマホが落下・転倒で強い衝撃を受けたとき、設定した時間内に解除しなければ登録した全員へ自動で通報します。初期設定はOFFです。アプリを閉じていても、画面が消えていても動作します。

解除しなければ、設定時間のあと自動で通報する



ONにする手順

1. 「設定」タブの「衝撃・転倒の自動通報」を開きます。
2. 「衝撃検知で自動通報する」のスイッチをONにします。
3. 自動通報までの時間と検知の感度を選び、必要ならメッセージを書き換えます。
4. 黄色い案内が出たら、表示されたボタンから端末の設定を済ませます（下の表）。
5. 「衝撃検知をテストする」で、実際に落とさずに動作を確認します。

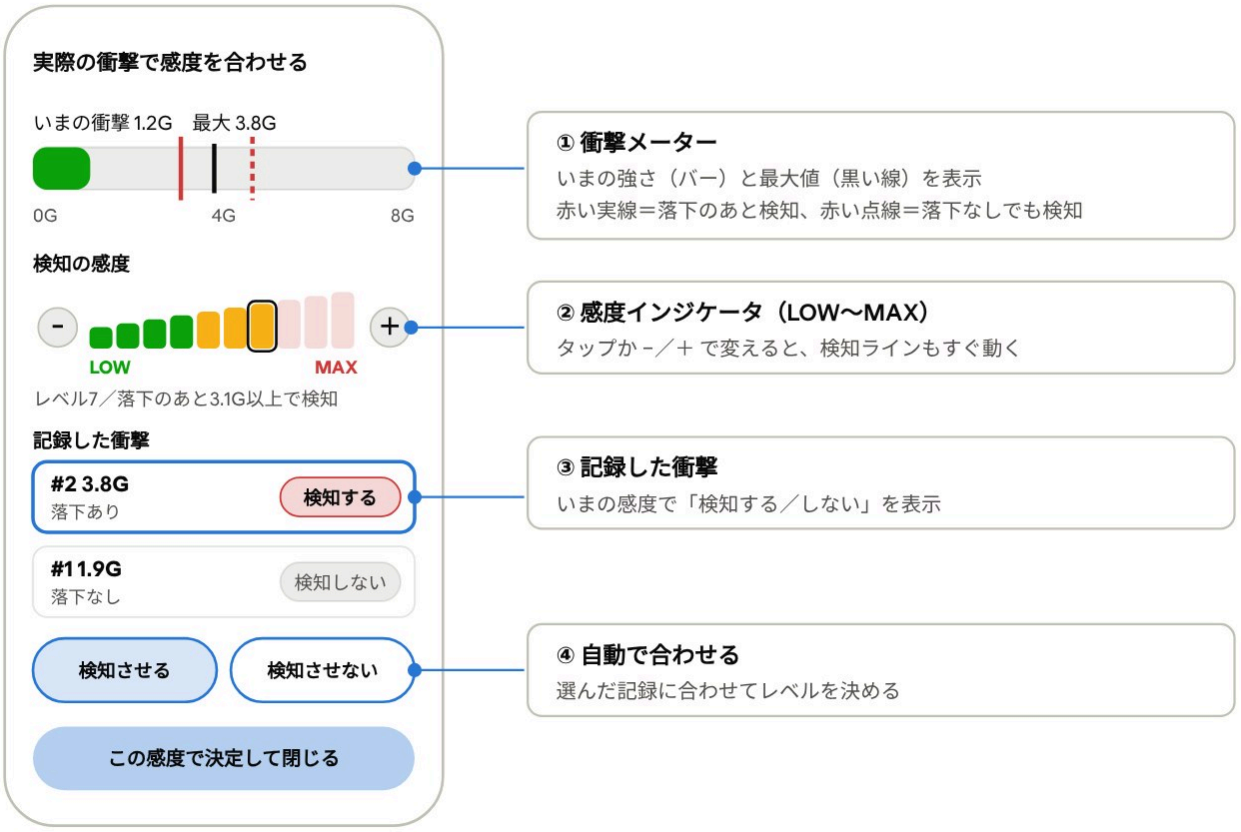
ONの間は、通知欄に「衝撃検知 ON」が表示され続けます。ホーム画面にも状態が表示されます。

設定項目	選べる値	初期値	説明
自動通報までの時間	15秒・30秒・1分・2分・3分	1分	この時間内に「大丈夫です」を押せば何も送られない
検知の感度	LOW〜MAXの10段階	レベル7	MAXに近いほど小さな衝撃でも反応する。−／＋かインジケータをタップして変更
自動通報のメッセージ	自由に入力	安否確認を依頼する文	「初期のメッセージに戻す」で元に戻せる

実際の衝撃で感度を合わせる

設定の「実際の衝撃を見ながら感度を合わせる」を押すと、衝撃の強さをリアルタイムで見ながら感度を決められます。この画面を開いている間は、衝撃を検知しても通報されません。

揺らす・落とすたびに、検知するかどうかがその場で分かる



1. スマホを手に持って振ったり、持って歩いたりします。記録が「検知しない」になっていればOKです。
2. ベッドやソファの上に、30cmほどの高さから落とします。記録が「検知する」になっていればOKです。
3. 結果が思った通りでないときは、その記録をタップして選び、下のボタンで合わせます。
   - 「この衝撃で検知させる」：その衝撃を（1割弱くても）検知する中で、いちばんLOW寄りのレベルに自動で合わせます。
   - 「この衝撃では検知させない」：その衝撃を（1割強くても）検知しない中で、いちばんMAX寄りのレベルに自動で合わせます。
4. 「この感度で決定して閉じる」を押します。

硬い床には落とさないでください。静止しているときの値は約1.0Gです。

レベル	1（LOW）	3	5	7（初期値）	9	10（MAX）
落下のあと検知する強さ	6.0G	5.0G	4.0G	3.1G	2.1G	1.6G
落下なしで検知する強さ	7.5G	6.5G	5.5G	4.6G	3.6G	3.1G

落下なしの値は、端末のセンサーが測れる上限を超えないよう自動で下げられる場合があります。

確実に動かすための端末設定

設定	必要な理由	しないと
通知の許可	カウントダウンの表示と結果の通知に使う	画面に何も出ないまま、時間が来ると送信される
全画面表示の許可（Android 14以降）	ロック中でもカウントダウン画面を表示する	通知欄からの操作だけになる
電池の最適化の対象外	長時間たっても検知を止めないため	しばらくすると検知が止まることがある

衝撃を検知したとき



- ロックを解除しなくても、画面のボタンを押せます。
- スマホを使っている最中は、画面上部の通知に同じボタンが表示されます。
- 「大丈夫です」を押すと何も送られず、そのまま検知を続けます。
- 時間内に押さないか「助けが必要（すぐに通報）」を押すと、位置情報を取得して登録した全員へ送ります。

届く内容

SMSには、ボタン送信と同じ形式で次の内容が入ります。メール設定をしている場合はメールにも同じ本文が届きます。

```
【緊急SOS】転倒・強い衝撃（自動通報）
山田より
強い衝撃（転倒・落下の可能性）を検知しましたが、本人の応答がありません。安否を確認してください。
（衝撃検知 14:32:05・60秒間応答なし）
■位置 緯度35.681236 経度139.767125（誤差約8m）
地図 https://maps.google.com/?q=35.681236,139.767125
■発信 2026/10/09 14:33:08
```

- 自動通報には写真が付きません。画面を操作していない状態ではカメラを使えないためです。
- 端末を再起動すると自動で検知を再開します。位置情報を確実に付けるため、再起動後は一度アプリを開いてください。
- 検知中はセンサーを読み続けるため、電池の減りが少し早くなります。

12. 困ったとき

送信結果画面で赤い「×」が付いた項目は、その下に理由が表示されます。表示された文言で下の表を探してください。

表示・症状	原因	対処
SMS：圏外です	携帯の電波が届いていない	窓際・屋外へ移動して、もう一度ボタンを押す
SMS：機内モード等で電波がオフです	機内モードがオン	機内モードをオフにして再送信
SMS：送信結果を確認できませんでした	30秒以内に送信完了の通知が来なかった	届いている場合もあるので、相手に確認するか再送信
SMS：SMS送信の権限がありません	権限を許可していない	緊急送信画面の警告「設定を開く」から許可
SMS：電話番号が登録された送信先がありません	連絡先に携帯番号がない	連絡先に携帯番号を追加
位置情報：端末の位置情報がオフです	端末の位置情報設定がオフ	警告の「オンにする」から有効化

表示・症状	原因	対処
位置情報：測位できませんでした	屋内・地下でGPSが届かない	位置なしでもSMSは送られる。屋外へ出て再送信
本文に「※〇分前に取得した位置です」	今の位置が取れず、最後に分かっていた位置を使った	実際の場所とずれている可能性があると相手に伝わる
写真：撮影できませんでした	カメラを他のアプリが使用中、または画面が消えていた	送信中はアプリを開いたままにする
メール：送信元の認証に失敗する	アプリ パスワードの誤り、2段階認証がオフ	「5. 設定」の手順でパスワードを発行し直す
メール：メール送信設定なし	送信元アドレス・パスワードが未入力	結果画面の「写真と位置をLINE等でも送る」を使う
ボタンを押しても何も起きない	前の送信処理がまだ終わっていない	結果画面を「閉じる」を押してから押し直す

防犯ブザー・衝撃検知

症状	原因	対処
ブザーの音が小さい	スピーカーを手や服でふさいでいる	スマホの下側（スピーカー）をふさがないように持つ
ブザーでライトが点滅しない	ライトのない機種、または他のアプリがカメラを使用中	音と振動は鳴る。カメラを使うアプリを閉じる
落としていないのに検知する	感度が高すぎる	感度をLOW側に下げる。「実際の衝撃を見ながら感度を合わせる」で、その動作を「検知させない」に合わせる。検知しても「大丈夫です」を押せば送信されない
落としたのに検知しない	感度が低い、またはクッションなど柔らかい場所に落ちた	感度をMAX側に上げる。「実際の衝撃を見ながら感度を合わせる」で、ベッドに落とした衝撃を「検知させる」に合わせる
しばらくすると検知が止まる	電池の最適化で常駐が止められた	設定画面の案内から「電池の最適化の対象外」にする
ロック中にカウントダウン画面が出ない	全画面表示が許可されていない（Android 14以降）	設定画面の案内から「全画面表示を許可」を押す

症状	原因	対処
自動通報に位置情報が入らない	再起動後にアプリを一度も開いていない、または屋内でGPSが届かない	再起動後は一度アプリを開く

13. 注意事項とよくある質問

このアプリは110番・119番通報の代わりにはなりません。 命に関わる場合は、まず緊急送信画面下の「警察 110」「消防・救急 119」から通報してください（電話アプリに番号が入った状態で開きます）。

- 送信はアプリの画面を開いたまま行われます。送信中に他のアプリへ切り替えると、写真撮影が失敗することがあります。
- 送信中は画面が自動で消えないようになっています。
- SMSは通常の送信料金がかかります。日本語は70文字ごとに1通として数えられ、1回の送信は3〜5通程度です。
- 撮影した写真は端末内に保存され、他のアプリからは見えません。

Q. 送信先は何人まで登録できますか？ A. 上限はありません。ただし1人ごとにSMS料金がかかるため、3〜5人程度がおすすめです。

Q. 相手がスマートフォンでなくても届きますか？ A. SMSは携帯電話番号あてなので、ガラケーにも届きます。地図リンクはスマートフォンで開いてください。

Q. 写真もSMSで送れませんか？ A. SMSは文字だけの仕組みのため送れません。写真はメール（自動）か、結果画面からLINE等（手動）で送ります。

Q. 圏外のときはどうなりますか？ A. SMSは送れず「圏外です」と表示されます。電波の届く場所に移動して、もう一度ボタンを押してください。

Q. 間違えて押してしまいました。 A. カウントダウン中なら「中止する」か戻るボタンで取り消せます。送信後に取り消すことはできないので、すぐに相手へ電話などで誤送信を伝えてください。

Q. ボタンごとに送る相手を変えられますか？ A. できます。「4. 緊急ボタンの作成と編集」の「送信先」で選びます。何も選ばなければ全員に送ります。

Q. 防犯ブザーを鳴らすと、家族にも連絡が届きますか？ A. 届きません。ブザーは周りに知らせるための機能です。連絡も必要なときは、ブザーを止めてから状況に合ったボタンを押してください。

Q. 衝撃検知はアプリを閉じていても動きますか？ A. 動きます。ONの間は通知欄に「衝撃検知 ON」が表示されています。この通知が消えている場合は、アプリを一度開いてください。

Q. 誤って検知したときはどうなりますか？ A. カウントダウン中に「大丈夫です（送信しない）」を押せば何も送られません。誤検知が多い場合は感度を下げてください。

SOS救難信号 ver.1.0.0

開発・提供：creator7（creator7.jp）
お問い合わせ：creator7.jp@gmail.com